

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の基本的事項（令和4年度）

基金の名称	畜産経営維持緊急支援資金融通事業基金
法人名	一般社団法人畜産生産者団体協議会
基金額（機構補助金等相当額）	1,979百万円（1,979百万円）（令和4年4月1日現在）
基金事業の概要及び目標	負債の償還が困難な大家畜及び養豚経営に対して借入金の一括借換えに要する資金を融通する融資機関に対し、利子補給等を実施し、経営の改善と国内畜産基盤の維持・発展に資する。
基金事業を終了する時期	利子補給金の交付が終了する令和19年度に畜産経営維持緊急支援資金融通事業を終了予定。基金は令和20年3月までに廃止の予定。
給付対象となる事務又は事業の採択に当たっての申請方法、申請期限、審査基準、審査体制	畜産経営維持緊急支援資金融通事業実施要綱及び同実施要領に基づき申請を受け付け、審査等を行う。

2. 見直し結果（令和4年度）

項目	講ずる措置		
実施した見直しの概要	「農畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準」（平成19年3月28日付け18農畜機第4545号）に基づき、毎年度見直しを行っている。		
基金事業実施時期	貸付は平成22年度まで（利子補給は令和19年度まで）		
収入・支出等 （令和3年度実績）	① 期首残高	2,694百万円	
	② 収入	運用収入	1百万円
		返還金収入	0百万円
		合計	1百万円
	③ 支出	利子補給金	164百万円
		保証円滑化交付金	49百万円
管理費等		6百万円	
運用益返還		2百万円	
基金返還		495百万円	
	合計	717百万円	
	④ 期末残高（①+②-③）	1,979百万円	
交付決定等実績 （令和3年度実績）	交付決定等件数 利子補給事業 696件、保証円滑化事業 9件 交付決定額等 利子補給事業 164百万円、保証円滑化事業 49百万円		

基金の保有割合	算出した保有割合は1.0であった。算出に用いた方式及び数値については以下のとおりである。	
基金の保有割合の算出	<p>(算出に用いた方式)</p> $\text{保有割合} = (\text{直近年度末基金残高} - \text{機構への返還額}) \div (\text{事業完了までに必要な利子補給額必要額} + \text{円滑化交付金必要額} + \text{管理費必要額})$ $= (1,979\text{百万円} - 1\text{百万円}) \div (884\text{百万円} + 840\text{百万円} + 96\text{百万円})$ <p>(算出に用いた数値)</p> <p>令和3年度末基金残高：1,979百万円  機構への返還額：令和3年度運用収入1百万円  令和4～19年度に必要な利子補給額：884百万円  令和4～19年度に必要な円滑化交付金：840百万円  令和4～19年度に必要な管理費：96百万円</p>	
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無	無
	(使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果)	
その他		